

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 16 日 (2020.7.16)

【公開番号】特開 2018-68986 (P2018-68986A)

【公開日】平成 30 年 5 月 10 日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2018-017

【出願番号】特願 2016-216792 (P2016-216792)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 20 日 (2020.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の始動条件の成立に基づいて図柄を変動表示させる図柄変動遊技を行い、該図柄変動遊技の結果として当り結果が導出された場合に、通常遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記図柄変動遊技中に所定の演出操作を受付可能な特定の操作演出を実行する操作演出実行手段と、

前記図柄変動遊技中に所定の音量調整操作が行われることに基づいて、前記図柄変動遊技に対応した演出音の音量を変更する変動中音量変更手段と、

前記図柄変動遊技中に所定条件が成立した場合、前記演出音の音量が固定される変更不能期間を発生させる変更不能期間発生手段と、を備え、

前記所定条件は、前記図柄変動遊技の進行過程で前記特定の操作演出が開始される前に成立可能であり、

前記特定の操作演出の開始前に前記所定条件が成立して開始された前記変更不能期間は、少なくとも前記特定の操作演出の終了後に終了するように、前記特定の操作演出の実行期間よりも長い期間に設定されており、

前記図柄変動遊技中の前記変更不能期間内にて前記音量調整操作が行われた場合には、前記演出音の音量が固定されたまま該音量調整操作が行われたことに対応する特定通知を実行可能であり、

前記特定通知は、音声でなく表示による通知であり、前記特定の操作演出の開始前であっても前記変更不能期間内に前記音量調整操作が行われることで実行可能であり、

さらに、前記特定遊技状態中にも前記変更不能期間が発生可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来より、図柄を変動表示させ、図柄の停止結果が所定の態様となった場合に所定の遊技価値を付与する遊技機が知られている。このような遊技機では、スピーカから出力される演出音に関し、遊技中に遊技者による音量調整が可能とされている（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特許第5849129号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1に記載されるような遊技機では、遊技進行と並行して音量調整を行うことができるものの、遊技の進行状況によっては遊技興趣の低下を招く虞があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

所定の始動条件の成立に基づいて図柄を変動表示させる図柄変動遊技を行い、該図柄変動遊技の結果として当り結果が導出された場合に、通常遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記図柄変動遊技中に所定の演出操作を受付可能な特定の操作演出を実行する操作演出実行手段と、

前記図柄変動遊技中に所定の音量調整操作が行われることに基づいて、前記図柄変動遊技に対応した演出音の音量を変更する変動中音量変更手段と、

前記図柄変動遊技中に所定条件が成立した場合、前記演出音の音量が固定される変更不能期間を発生させる変更不能期間発生手段と、を備え、

前記所定条件は、前記図柄変動遊技の進行過程で前記特定の操作演出が開始される前に成立可能であり、

前記特定の操作演出の開始前に前記所定条件が成立して開始された前記変更不能期間は、少なくとも前記特定の操作演出の終了後に終了するように、前記特定の操作演出の実行期間よりも長い期間に設定されており、

前記図柄変動遊技中の前記変更不能期間内にて前記音量調整操作が行われた場合には、前記演出音の音量が固定されたまま該音量調整操作が行われたことに対応する特定通知を実行可能であり、

前記特定通知は、音声でなく表示による通知であり、前記特定の操作演出の開始前であっても前記変更不能期間内に前記音量調整操作が行われることで実行可能であり、

さらに、前記特定遊技状態中にも前記変更不能期間が発生可能である

を特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】